

笛吹市協 だより

かけはし

自分たちの手で作る 防災マップ



CONTENTS

～ 目次 ～

八代町 森の上防災マップづくり

くわしくは ▶▶▶ P4~P5

- P2 ▶▶ ● 高校生に聞く 赤い羽根共同募金
- P3 ▶▶ ● 笛吹市社会福祉大会 笛吹市ボランティアのつどい 開催のお知らせ
- P4 P5 ▶▶ ● 社協の役割（防災マップづくり）
- P6 P7 ▶▶ ● 社協の役割（幸せの黄色いジャンパー部隊/福祉教育って?）
- P8 ▶▶ ● 障害者地域活動支援センター「ふえふき」通信



発行 社会福祉法人 笛吹市社会福祉協議会

住所/〒406-0822 笛吹市八代町南917 電話/055-265-5182 FAX/055-265-5183

広報「かけはし」には、赤い羽根共同募金の配分金が活用されています。

発行責任者：社会福祉法人 笛吹市社会福祉協議会 会長 網倉義久



高校生に聞く



赤い羽根共同募金

昨年10月1日から12月31日まで『赤い羽根共同募金運動』へのご協力ありがとうございました。今年度も皆様のご協力のもと、多くの募金を集めることができました。

今回は石和温泉駅前の街頭募金活動でご協力いただきました笛吹高校の生徒会の皆さんに『赤い羽根共同募金』について、どういったイメージを持っているかなどインタビューしてきました。



【社協】今回、石和温泉駅前の街頭募金に参加されていたか？

【生徒】募金をしてくれる人はわざわざ、足を止めて財布を出して、募金をしてくれたので、本当にやさしい人だなあと感じました。

【社協】学校内でも募金活動をして頂きましたが、集まり具合はいかがでしたか？

【生徒】各クラスに2日間、募金箱を設置し1クラス三千円以上集まるクラスもありました。また、前回のかけはしの表紙に笛吹高校の生徒が取り上げられたこともあり、学校内で呼びかけがしやすいかったです。

【社協】ちなみに共同募金は何に使われるか知っていますか？

【生徒】昔から目にするので馴染みはありますが、詳しくは知りません・・・？

【社協】赤い羽根共同募金は地域の福祉活動に使われています。笛吹市で集めた募金の7割は笛吹市で、3割は山梨県内で使われるんですよ。

今後、赤い羽根共同募金とどのように関わって行きたいですか？

【生徒】今回、募金を集める側になったことで、活動の大変さや募金をしていただいた時の嬉しさを実感することができました。募金活動を街で見かけた時には、少しでも協力できればと思います。

HPにも載ってるよ！

笛吹高校 赤い羽根



2012年10月1日～12月31日

赤い羽根共同募金のご報告

13,571,549円



ご協力ありがとうございました



かけはしの表紙を掲載！



第1部

笛吹市社会福祉大会



昨年の様子

本市社会福祉関係者が一同に会し、今日までの社会福祉の発展に功績のあった個人・団体の表彰を行い、感謝の意を表すとともに本大会を契機により一層の社会福祉の推進を図ります。

ボランティア活動功労者・団体表彰

小林やよい様 民生平成会様
石原力子様 朗読 ゆずの会様
田中幸子様 木せ いの会様
代永三佳様 なかよし会様
田中澄子様 手話サークル 手のひら様
田宮康子様 心のボランティア ぴあぴあ会様

小規模事業所等役職員10年以上功労者表彰

上原あさ子様

金品感謝状

細田豊様 春日居町老人クラブ連合会様
武藤豊様 山梨しんきん笛信経営者会様
神宮字眞様 彩の会日本舞踊教室代表
石田ヨシ子様 花柳彩三郎様
佐藤泰雄様 八代仏教会様
生原正敏様
堀内誠様

退任者感謝状

渡邊美脩様 齊藤智雄様
小野英雄様 早川元弘様
平井昭見様 前島真弘様
矢崎緑様 古屋美子様
春田美子様 市川邦忠様

(順不同)

第2部

笛吹市ボランティアのつどい

【12:00～13:00】
受付
【13:00～14:00】
社会福祉大会
【14:00～16:30】
ボランティアのつどい

【会場】
笛吹市
スコレーセンター
集会室

どなたでも
ご自由にご参加
いただけます。

お問合せ先

社会福祉法人 笛吹市社会福祉協議会 総務課
笛吹市八代町南917
TEL 055-265-5182

※この大会の費用は「会費及び寄付金」の一部を充当しています。

テーマ

自分たちができる

ボランティア活動を再考する

一宮中学校

「中学生のボランティア活動の取り組み」
生徒による活動事例発表
先生から活動の取り組みについて(福祉教育)

御坂町二階地区

「地域でできるボランティア活動」
地域防災の取り組み

「かい見守り隊の活動について」

話し合い・まとめ

「自分ができるボランティア活動とは？」

善意の寄付・寄贈の御礼

10月

生原正敏様 [春日居]
▶40型デジタルハイビジョンテレビ
壁掛け器具一式

11月

笛吹市ゴルフ連盟一宮支部様 [一宮]
▶35,684円
民生平成会様 [八代]
▶5,000円
長沼忠征様 [御坂]
▶50,000円
笛吹市役所職員一同様
▶12,000円
堀内誠様 [御坂]
▶100,000円
臨済宗相沢山廣徳寺代表役員 篠本耕二様 [御坂]
▶50,000円

12月

石和駅前八日会様 [石和]
▶20,000円
渡邊鉄男様 [御坂]
▶50,000円
花柳彩三郎日本舞踊教室様 [一宮]
▶100,000円
マックスバリュ東海株式会社様 [静岡]
▶車椅子1台
ふれあい御所サロン様 [八代]
▶長座布団カバー付き(10セット)
石和ロータリークラブ様 [石和]
▶40,570円
笛吹市赤十字奉仕団石和分団様 [石和]
▶デジタウン・エアポット
あいおいニッセイ同和損保株式会社 山梨支店様 [甲府]
▶車椅子1台

石和町四日市場区様 [石和]
▶石油ストーブ
笛吹市立春日居小学校児童会様 [春日居]
▶5,000円
石和地区民生・児童委員協議会様 [石和]
▶8,321円
八代仏教会様 [八代]
▶赤ちゃん抱っこ体験人形セット一式
妊婦体験ジャケットセット一式
「新しい生命の誕生」DVD一式
調理体験機材セット一式
(530,000円相当)

ご協力いただき
ありがとうございます



身近な地域の
相談場所として
柔軟な支援が
できる仕組みをつくらう

災害等に
対応できる
個人・地域
を目指そう

笛吹市

笛吹協
社協

住民

命
を大切に
他者を
思いやる心
を育てよう

住
民同士の
つながりを
深めよう

安心して暮らせる幸せあふれるまちづくり

地域づくり 福祉教育 災害対応 相談

社協の役割

地域づくり 災害対応

- 課題
- 災害（非常事態）が起きても対応できる仕組みを整えよう
 - 人と人とのつながりを強めよう
- 取り組み目標
- 災害等に対応できる個人・地域を目指そう
 - 住民同士のつながりを深めよう

2012年 12月
はじめての防災マップづくり

組長さんたちが集まって
防災マップの作成

マップの作成をすすめる中で、避難場所が住んでいる地域によっては遠いため、違う場所の方が安全ということや、近所に災害時要援護者（一人で逃げるのは難しい方）がいることなどの情報の共有を行いました。以前作成された防災マップでは「分からなかったこと」「一人では知らなかった情報」を共有することで、実際に災害が起きた時に活用できるマップ（支えあいの地図）を作成することができました。

AQ A Q A Q

なぜ防災マップを作ろうと思ったのですか？
地区内での情報の共有が大事だと思ったからです。
過去にはどんな防災訓練も行われてきていたのですか？
実際に防災訓練の日に地区のみんな避難路を歩きました。
今後の課題は？
防災マップの更新を続けることだと思います。今回だけではなく、定期的な情報の更新（災害時要援護者の確認や地図の確認など）も必要になります。まずは当たり前のように地区の会で防災マップの話しが出るようにしたいです。



作成後は各グループ
に分かれて発表し
情報の共有をしました

災害時要援護者登録カード

災害時において家族等の援助がなく、地域（行政区）での支援を希望する方が登録するカードです。

【これから】

加賀美部長さんと古屋民生委員さんがコツコツと準備を行い地区の皆さんを少しずつ巻き込んでいくというひたむきさを感じました。初めてのことをする時は本当にエネルギーが必要で大変だと思います。お話をしている中で淡々と語るお二人が印象的でしたが、『今何をすべきか？』という冷静な考えと熱い想いを感じました。これからも、地域の方を徐々に巻き込み、若い人も参加する活動になって欲しいと感じました。

八代地域担当



2012年 8月から
何度も打合せし、企画
を練りました！
区会にも参加させて
いただきました。



昨年12月に八代福祉センターで行われました「八代町 森の上地区の防災マップ作成」の取り組みについてご紹介させていただきます。社協が関わり、地域のお年寄りが参加されているサロンの「なかよし会」の取り組みとして防災マップを作ったことが始まりでした。その時は避難路の確認で終わりましたが参加者からは「防災について考えるいい機会になった」との意見が上がりました。

その後、より詳細な防災マップの必要性を感じ、森の上の加賀美部長さん・古屋民生委員さんと共に、地区全体での作成までに至りました。当日は組長さんや消防団の方も参加し、防災マップの作成を行いました。



2012年 11月末
マップ作成の大詰め
最終打ち合わせ！

2011年10月
START
森の上サロンにて
防災マップについて考える

PICK UP!

最高の防災マップを
作れるのは「自分たち」

八代町森の上 防災マップは最初の一步

相談

課題

- 困ったときの相談場所があり、必要な支援を受けられる体制を整えよう

取り組み目標

- 身近な地域の相談場所として、柔軟な支援ができる仕組みをつくろう

幸せの黄色いジャンパー部隊

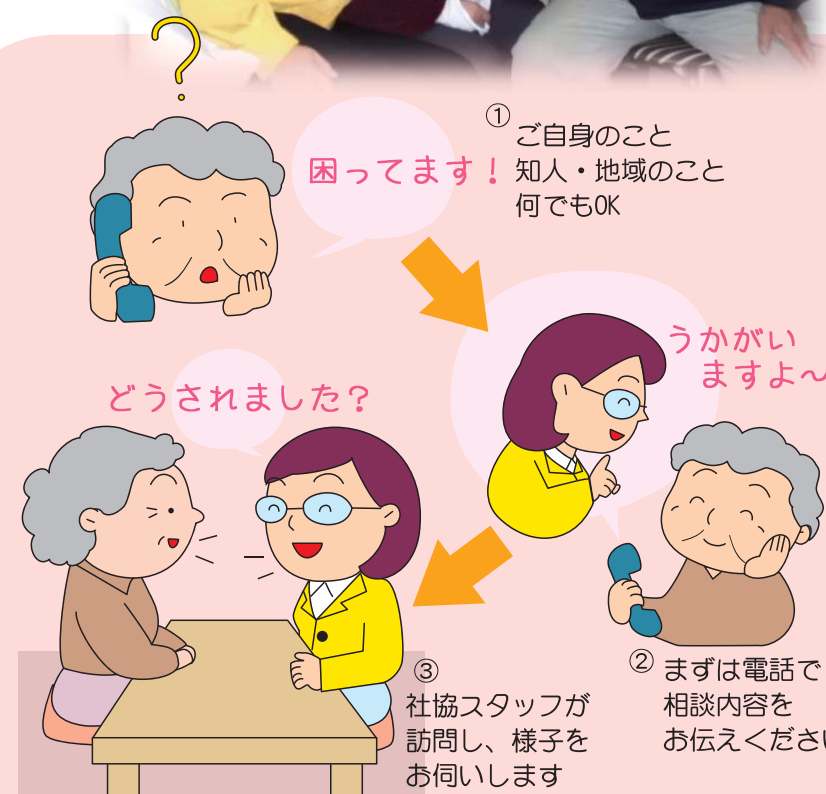
〜1本の電話からのつながり〜

社協に相談してよかった！「二宮」

一宮在住の三枝千代子さんは、右腕を骨折してから2週間は、トイレに行くのにも起き上がることが大変なため布団に寝られず、ソファで横になっていました。足も伸ばせず同じ姿勢のため血流が悪くなり、ますます痛みを感じるようになりました。そんな折、社協の「相談ティッシュ」を見た千代子さんの友人から、社協に連絡がありました。一宮担当の職員がすぐに訪問をすると、千代子さんは寝たきりの状態で、ご主人が家事や介護を行っていることがわかりました。そこで、介護保険や行政・社協で対応できる福祉の制度の説明も行い、介護保険の申請をしていただきました。そして、ゆったり休んでいただくために特殊マットの提案をしたところ、三枝さんご夫妻は早速ケアマネジャーと相談し、特殊マットを借りました。千代子さんからはこんなお声をいただきました。「社協さんにすばやく対応してもらえて良かった。伸び伸び寝たら体中に血が流れている感じがしみてみわかった。こんなに気持ちよく休めたのは2週間ぶりだよ」と。今では、骨折も順調に回復し、「今年の目標は、社協の『やってみるじゃん』に参加して、健康で過ごすことだよ」と意気揚々と話してくれました。

一宮地域
中樞

三枝さんご夫妻



社協の相談ティッシュの

前号でご紹介

社協を紹介できてよかった！「石和」

石和在住の小松さんは、昨年の高齢者社会見学バスに参加して、社協の活動を「相談ティッシュ」で知りました。そのとき「自分は健康だけど、普段から気になっている一人暮らしの友人に紹介をしよう」と思いつきました。友人の住んでいるアパートは、一人暮らしの方が多く、住んでいる人達で、お茶のみや、困ったことの相談をしていました。友人に「相談ティッシュ」を渡したところ、友人が中心となって、アパートに住む高齢者の日常生活で困ったことをみんなで話し合い、社協に連絡をくれました。社協の職員は、皆さんの生活状況の確認のため訪問し、さまざまな困りごとが確認できました。その中には、民生委員さんも一緒に相談に対応していただき、生活支援を行った方もいます。

小松さんは、「社協の困りごと相談がもっと地域に広がり、いつでも電話ができるように」と、冷蔵庫に社協の電話番号を貼っているそうです。

石和地域
岩間

小松さん

福祉教育

課題

- 誰もが互いに支え合える社会の実現を目指そう

取り組み目標

- 命を大切にする、他者を思いやる心を育てよう
- みんな「誰かの役に立っている」ことのすばらしさを体験しよう

福祉教育って？

今回は、相手の気持ちを思いやり、命の大切さをすることをテーマに、小中学生が高齢者・障害者の疑似体験と東日本大震災の後、被災地の支援をしているボランティアさんの話を聞きました。子ども達は自分の言葉でこう語ってくれました。「目が見えることが幸せで大切なことだと思った」「目の前が真っ暗な時に、声をかけてもらって安心した」「亡くなった人のためにも自分は一生懸命生きる」などなど。多くの子ども達が、相手の気持ちを思いやり、命の大切さを考えるきっかけとなりました。地域づくりは福祉教育から始まると感じた瞬間でした。

東日本大震災のお話

一宮北小

「津波でんでんこ」
自分の命は自分で守る

高齢者・障害者の疑似体験

階段を降りるのせいで、えらいつらいよ〜

御坂東小

私の移動手段は車イス

浅川中

お問合せ先

地域づくり

福祉教育

災害対応

相談

- ◇本所 TEL 055-265-5182
- ◇石和地域事務所 TEL 055-262-1267
- ◇御坂地域事務所 TEL 055-263-0848
- ◇一宮地域事務所 TEL 0553-47-2288

- ◇八代地域事務所 TEL 055-265-2240
- ◇境川地域事務所 TEL 055-266-5911
- ◇春日居地域事務所 TEL 0553-26-3667
- ◇芦川地域事務所 TEL 055-298-2170





障害者地域活動支援センター 「ふえふき通信」

地域ケア会議 レポート

まいなの
笛吹市役所健康づくり課
成人担当坂本保健師にインタビュー

Q 地域ケア会議って？

A 障害者自立支援法の中に定められている、自立支援協議会の一部会です。これは、地域に住む障がい者が、多くの関係機関と協働して安心して生活が送れるような仕組みづくりを行うところです。

Q 誰が参加しているの？

A 社協が事務局となり、保健師、地域包括支援センター、障害福祉担当、生活保護担当や相談支援事業所（美咲園、支援センターふえふき）、その他必要に応じて関係機関が参加しています。

Q 具体的にはどんなことをやっているの？

A 毎月各地域の担当者が集まり、皆様がより良く暮らせるような地域を目指すためにはどうしたらいいか、などの検討を行っています。例えば、障害者福祉サービスを利用している方が高齢（65歳）になった時、介護保険制度に移行しても困らないようにするためにはどうしたらいいか、障がいのある高齢者の居場所づくりをどのようにしたらいいか、など、具体的な検討をしています。

Q 地域ケア会議のいいところって？

A 市の中にも障害担当、高齢担当などそれぞれ窓口はありますが、社協や相談支援事業所、関係機関と連携することにより、幅広く地域で支える体制作りができると思います。

坂本保健師より



「地域ケア会議」と聞くと堅苦しく感じるかもしれませんが、『（障がいを持っていても）住み慣れたところで長く生活を続けること』が一番だと思います。それぞれの地域の色があると思うし、地域のいいものを伸ばしていくような視点を持つためにも社協や関係機関との連携が必要となり、地域ケア会議の意義がでてくるのではないかと思います。



●お問い合わせ 社会福祉法人 笛吹市社会福祉協議会
障害者地域活動支援センターふえふき
TEL 055-263-1777

お知らせ

第6回笛吹市朗読ボランティア発表会

市内で視覚障がい者のために、声の広報活動や福祉施設などで朗読活動を行なっている朗読ボランティアサークルによる朗読発表会が行われます。大勢の方のご来場をお待ちしています。

【日 時】平成25年2月17日(日) 受付12:30～ 開演13:00～ 終了15:30

【会 場】学びの杜 みさか 視聴覚室

【内 容】市内朗読ボランティアサークルによる朗読発表会。視覚障がい者による朗読発表もあります。

【主 催】笛吹市ボランティアサークル

入場無料



生活支援員・市民後見人フォローアップ研修会

【日 時】平成25年3月1日(金) 13:30～16:35

【会 場】石和スコレーセンター 2階展示室

【目 的】生活支援員・市民後見人として活動していただく市民の継続研修

【講 師】河西社会福祉士事務所 河西俊文

【内 容】「育てよう、かけがえのない一人ひとりの人権」～自己実現の権利と社会の責務～

【対象者】過去の養成講座を受講された方及び関心がある方



上記のお問合せは・・・

社会福祉法人 笛吹市社会福祉協議会
障害者地域活動支援センターふえふき

TEL 055-263-1777 FAX 055-263-1769

